

いばらき

2019年（平成31年）
2月1日 発行

2

No.982
February 2019

◆編集・発行

茨城県 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
30年12月末現在
男 16,409人
女 16,310人
総人口 32,719人
世帯数 13,123世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の情報発信中!!



◆町公式ホームページ

<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



◆町公式ツイッター

<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>



◆町公式Instagram

https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.78 アカハジロ

(カモ科)

学名 Aythya baeri

写真・文 山口 萬壽美

▼カモ類の渡り
瀬沼周辺の枯れススキが風になびく頃、湖上に浮かぶカモたちが日ごとに増えていきます。昨年1月は26種類のカモ類が約1万羽数えられました。今年は、何羽くらい渡来するでしょうか。
私は、鳥たちの調査を始めてから早50年が経ちました。その間、鳥たちの渡りについて考えてきました。汽水湖の瀬沼は、カモ類に特徴があります。淡水を好むカモ類としては、オシドリやアカハジロ、ヨシガモなどが見られ、そのほかにも海ガモと呼ばれるスズガモ、キンクロハジロのように、水に潜ってシジミ類を採取するカモ類も多く見られます。「今年はシジミが多く採れる。」という声が聞こえてきた年には、海ガモが多く見られるようすです。

▼特徴
アカハジロの大きさは、ヨシガモと同じ45cm。雄成鳥は、頭部から首が緑色光沢のある黒色で、喉に小さな白斑があります。胸は赤褐色で、背から背面は暗褐色。脇腹は褐色で、脇前部から腹、下尾筒にかけては白色です。また、腰から尾は黒褐色と色に特徴があります。雌は雄に比べて全体が淡い色です（写真は雄）。雄は「コロッコロツ」と鳴きます。

▼お詫びと訂正
広報いばらき平成31年1月1日号18ページ「里山に育む生きものたち」の内容に誤りがありました。この度の掲載の誤りについてお詫びして訂正いたします。（山口）
写真 熱田悦男
文 山口 萬壽美

確認できていません。

▼期待のカモたち

毎年、瀬沼の冬鳥を記録していると、5年以上会っていない鳥が気になります。そのような鳥も、霞ヶ浦や北浦周辺を調べてみると確認することができると確認することがあります。瀬沼でその姿をまた見ることが出来るかもしれません。

ちびっ子アート ひめま保育園



「たのしかったサンタさん」
わたなべ かな (6歳)

「がんばったわだいこ」
いいつか ゆおり (5歳)